



今年は、10月21日（土）・22日（日）の2日間にわたり、友部公民館を会場に「ふるさとまつりinかさま」が開催され、中央支部でも初日の21日（土）に福祉バザーを実施しました。

前日に、女性部の方や支部役員などが社協に集まり、地域の方から提供されたバザー用品を一つ一つ見定めながら値札シールを貼りました。仕分けをしながら段ボールに詰め、午後2時からの会場搬入に備えました。

また。搬入時は、会場の3張りのテント内に、バザー用品の入った段ボールを置き、雨が降らないことを祈りながらブルーシートをかけ、翌日に備えました。

迎えたバザー当日は好天に恵まれ、ほっと胸を撫でおろしました。支部役員はもちろん、お手伝いの係の方々も、早くから会場に来て準備に取り掛かっていました。「雑貨の部」「衣類の部」「赤飯の部」に分かれ、

バザー用品をテーブルやブルーシート上に並べたり、掲示物をつけたり、テント周辺を整理したりと、お客さんを迎える準備を手際よく行いました。8時45分の開会式の頃から、入場者も徐々に増えてきたので、9時の販売開始までバザー会場への入場規制をしました。そして9時の合図とともにロープがはずされ、大勢のお客さんが会場内に押し寄せてきました。品物を手に取り品定めをした

り、お目当ての品物を見つけて係に声をかけたりするなど、賑やかな様子が続きました。販売の係は丁寧にかつ機敏に対応していました。やがて、赤飯が到着し販売開始。昨年よりかなり多めに蒸かして販売しましたが、あつという間になくなり、次の赤飯が来るまで、再び多くのお客さんの列ができ、昼過ぎには見事完売しました。午後3時を過ぎたあたりから、客足もまばらとなってきた

ところで、少しずつ片付けを始め、午後4時にはすべてを終了しました。

今年の開催は、コロナが5類に移行されて初めてということもあり、たくさんの方の入場があり、コロナ禍前に戻ったような感覚があります。また家族連れも多く、和やかな雰囲気、おまつりを楽しんでいる様子が伺えました。

バザー実施までを振り返り、バザー用品を提供して下さった皆様、お忙しい中、準備や販売・警備の

お手伝いをして下さった関係者の皆様に、改めて深く感謝申し上げます。おす。本場に有難うございました。お陰様で、今年のバザーの売り上げは30万円余りとなり、コロナ禍前とはいかないまでも、素晴らしい結果だと思っております。この売り上げは、支部活動を進める上での貴重な財源として、大切にに使わせていただきます。



最後に気道異物の除去について背部叩打法と腹部突き上げ法を習いました。救急車が到着するまでの間にできることがあります。皆さんも基礎的な応急手当の知識を身につけましょう。

盛況だった福祉バザー

中央支部だより

発行者
笠間市社協中央支部
編集
中央支部広報委員会
印刷
(有)シーエス

普通救命講習会



7月16日（日）普通救命講習会が4年ぶりに開催され20名の参加がありました。また、消防署から1名、民間救急ボランティアKHS（カサマハートサポーター）から5名の参加をいただき、講習の内容の補助をしてくれました。

まず一次救命処置として胸骨圧迫、人工呼吸をそれぞれ行いました。次に心肺蘇生の手順を最初から確認しました。

その後、呼吸確認、AEDの使い方、一次救命処置の大切さを学びました。心肺停止の時、応急措置で大切なことは胸骨圧迫を続けて行うことだそうです。

最後に気道異物の除去について背部叩打法と腹部突き上げ法を習いました。救急車が到着するまでの間にできることがあります。皆さんも基礎的な応急手当の知識を身につけましょう。

高齢者親善交流会

10月3日（火）迄の用意周到な準備にも拘らず、4日（水）当日は、早朝から降雨のため、急きょ、屋外のグラウンドゴルフ・輪投げ競技より屋内の交流会へ変更。ビンゴゲームの開催となりました。

9つのクラブ・地域より男性22名、女性31名の計53名が参加しました。

午前9時より栗股支部長の挨拶後、藤枝副支部長よりクイズを出題し、屋外とは異なる雰囲気の中、下条副支部長の進行でビンゴゲームを行いました。クイズもビンゴゲームも大いに盛り上がりしました。

参加者は特別賞（米寿）を始め、



優勝、準優勝、3・4・5・7・10・15位、ブービー賞、参加賞の景品を獲得。和気あいあいとした楽しい内にゲームも終了し、昼食のお弁当配食（お持ち帰り）後、解散となりました。来年は青空の下での競技開催を期待したいものです。



百歳目指してがんばろう

—敬老会 笑って歌って元気よく—

令和5年9月18日（月）友部小学校区中央地区区長会主催の敬老会が、地域交流センターともべで開催されました。

式典は、赤尾杉友一実行委員長の主催者あいさつに続き、来賓として来られた山口伸樹市長、常井洋治県議、坂本奈央子市議の3人より祝辞をいただきました。

中央地区の今年の敬老会の該当者は552名で81名が出席されました。米寿を迎えられた方は23名でした。

アトラクションは、最初に万葉亭すももさんの落語でした。演目は「狸の札（たぬきのさつ）」です。すももさんは現在中学1年生です。小学低学年から落語を学び、流暢な話し方で会場を沸かせ、大変将来が楽しみな女性落語家です。

続いて、「流しのてっちゃん」さんによるギター漫談でした。さまざまな曲に合わせて隠しネタを披露する芸は大変おもしろく拍手喝采でした。

最後に「歌声喫茶inトモア」で活



躍の逢坂せいしさんと丹家りんこさん・丹家渚さん親子による「里の秋」「紅葉」などの童謡や「ああ上野駅」「いつでも夢を」など昭和歌謡を10曲参加者全員で歌いました。それぞれの曲に想い出がよみがえっているようでした。いつまでも余韻の残る楽しい敬老会でした。

ご来賓、ご招待者の皆さまありがとうございました。実行委員会の皆さまご苦労さまでした。

調理ボランティア募集

中央支部配食調理は女性部が担っておりましたが、高齢化に伴い、人数が減少して、調理が難しくなってきました。

そこで女性部に限らず、地域の皆様に年1〜2回の調理のお手伝いをしていただける方を広く募集しています。女性部の方も、お手伝いしてもよいとお考えの方、どうぞ、よろしくお願い致します。是非ご連絡ください。

◎連絡先・社協事務局

☎0296(77)0730

会澤・柿長迄



あとがき

中央支部だより125号をお届けします。

新型コロナウイルスが5月より5類に移行され、中央支部の各種行事もコロナ以前に戻りつつあります。

一方で「地球沸騰」と言われる今年の暑さ、クマによる被害のニュースが後を絶ちません。

新型コロナウイルスもクマ被害も人間の営みが原因ではと思ってしまう。

（持丸）